

なるほど

インターンシップ 推進助成金制度

教育機関とタッグを組んで

教育機関



中小企業

若いチカラを業界のチカラに

明日の電設業界を担う
人材育成のため
ご一考ください。

プラグくん



一般社団法人

日本電設工業協会

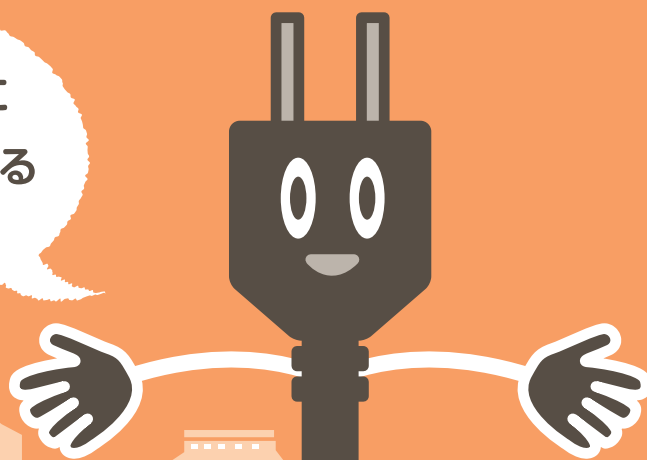
“インターンシップ推進助成金” を新設しました!

労働集約型産業である電設業界においては、優秀な人材の確保・育成が業界の健全な発展の要であり、若年労働者人口が減少する環境下において将来を担う若者を業界に呼び寄せることは、電設業界全体の発展のために極めて重要な課題とされています。

このような背景のもと会員企業では、若者の就労意識の向上と地域社会への貢献を目的に、厳しい経営環境の中で、学生の就労体験・インターンシップを独力で取り組み、実施しているところです。

この取り組みの重要性に鑑み、協会として、中小会員企業が実施するインターンシップを支援するための助成金制度を設け、インターンシップの負担が相対的に大きい中小企業を業界全体で支援し、電設業界が全体として優秀な人材を確保することを目指します。

インターンシップは若者に
電設業界を体験してもらえる
チャンスです。





明日の電設業界の人材確保に向けた 業界全体としての取り組み

- 就労体験を通じて、**若者**に電設業界の魅力を紹介し、入職の「きっかけ」を提供
- 中小会員企業にインターンシップ実施のインセンティブを提供し、業界全体としての学生との接点の場を拡大

インターンシップとは

学生が在学中に企業の研修生として働き、自分の将来に関連のある就業体験を行うシステムです。

電設協では、授業では学ぶことができない多くの“出会いときっかけ”を、**インターンシップ助成金制度**を通して応援します。

助成対象

以下の(イ)及び(ロ)の双方を具備するものを対象とします。

イ 対象事業

教育機関(工業高校、大学等及び教育委員会)からの要請により実施する就労体験・インターンシップ(実習先企業が実施する「教育実習」)を対象事業とします。

ロ 対象者

中小企業基本法に定める中小企業(資本金・出資金が3億円以下、又は常用雇用者が3百人以下、のいずれかに該当する会社)に該当する正企業会員を対象者とします。

助成金額

インターンシップ生(以下「学生」)の受け入れ費用・準備経費として、以下により算出された額を助成します。助成の利用は、**ロ**の対象者当たり年間1回とします。

- ①学生1人・インターンシップ実施1日当たり3千円を助成します(1人日額3千円助成)。
- ②学生数は1社につき10人までを助成対象とします。
※10人を下回る場合は当該人数まで、10人を上回る場合は10人まで
- ③インターンシップ期間(教育実習日数)は10日までを助成対象とします。
※10日を下回る場合は当該日数まで、10日を上回る場合は10日まで
- ④1社当たりの助成額は年間10万円を限度とします。

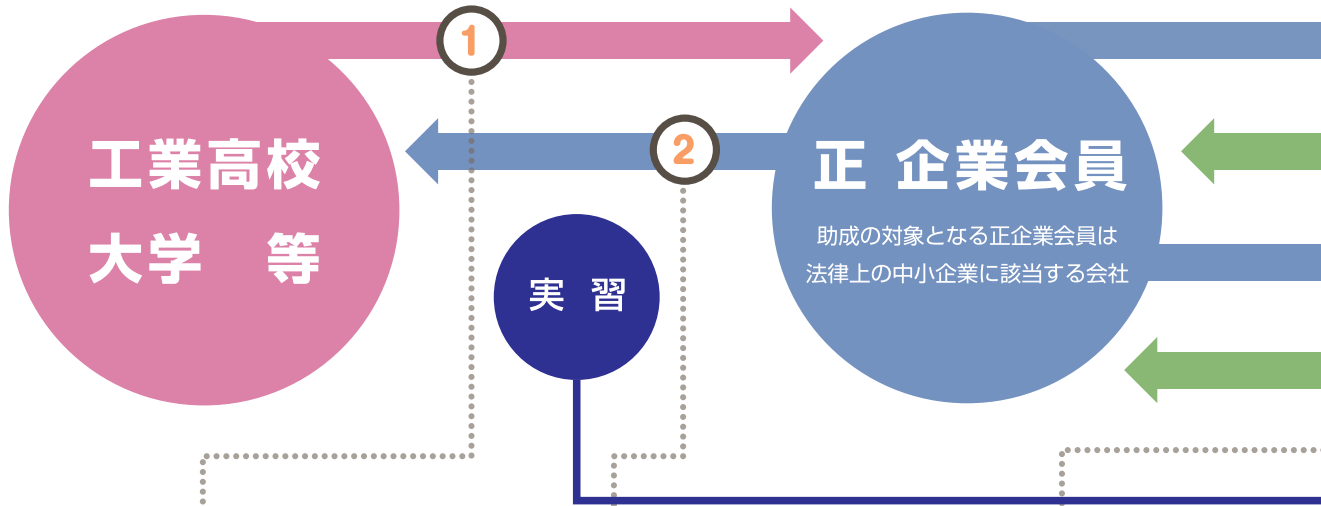
交付後の特典

助成金交付後、あなたの会社のインターンシップ実施概要を、電設協のホームページ(www.jeca.or.jp)に公開する予定です。

あなたの会社がインターンシップを採用し、学生の就労支援に取り組んでいることを業界のポータルサイトから発信し、貴社のイメージアップにつなげます。

インターンシップ助成申請の流れ

←正 企業会員と教育機関等とのやりとり→



1 受け入れ申込み

正企業会員は、工業高校、大学等の教育機関からのインターンシップ受け入れ要請を検討する。

2 受け入れ受諾

正企業会員は、インターンシップを受け入れの場合は、教育機関と所定の手続きを締結する。

3 計画書提出

正企業会員は、教育機関等と所定の手続き等を締結後、電設協に対してインターンシップ受け入れに関する基本的事項となる実施計画(受け入れ期間・学生数・実習内容等)を、原則として実施予定の2か月程度前までに電設協に提出し、助成対象の可否の精査を求める。

①と②は工業高校・大学等と学生の受け入れ先(実習先)企業とある正企業会員との独自の行為となります。

電設協は関与いたしません。

学校からのインターンシップ受入要請

株式会社 ABC電設
社長 ABC太郎 殿

東京口工業高専
校長 山田 太郎

インターンシップのお願い

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃より、工業教育につきましては深くご理解いただき感謝申し上げます。このたびは、インターンシップをお引き受けいただき誠にありがとうございます。つきましては、貴社で受け入れていただきますインターンシップに關しまして、次の要領をお願い申し上げます。なお、実施の詳細については、本校の担当教諭が事前打ち合わせのために貴社を訪問させていただきますので、ご配慮のほどよろしくお願ひ申し上げます。

敬具

記

1. 日程 平成26年7月21日(水)～7月23日(金)

2. 実習生(対象は2年生)

人数	クラス	氏名
1	電気科1組	青山 一郎
2	電気科1組	田中 二郎
3	電気科1組	山川 三郎

以上

担当教諭(関い(含せぬ))
東京口工業高専学校 電気科
インターンシップ担当 中川四郎
〒164-8656
〇東京口町1-2-3
TEL 00-1234-5678
FAX 00-1234-8765

実施計画表

株式会社 ABC電設工業
社長 ABC 太郎 殿

インターンシップの実施計画について(ご懸念)

このたび弊社では、教育機関からの要請により学生の教育体験(インターンシップ)として、弊社事業所に学生を受け入れ教育実習を実施する予定です。つきましては、インターンシップ実施計画書を提出いたしますので、貴協会の「インターンシップ推進助成金制度」の対象となるかご精査いただきたくお願ひ申し上げます。

敬具

〇 インターンシップ実施計画書

項目	内容
受入学生数	〇東京工業高校
実習期間	平成26年5月10日～6月10日の5日間
受入学生数	2人
受入事業所	株式会社ABC電設 (〒123-4567 東京都〇〇区〇〇町1-3-4)
受入担当教員	神田川太郎 部長・人事課 山田太郎 電話 045-1234-5678 FAX 045-1234-5679 E-mail: abc@abc.co.jp
実習内容*	<例1> 1日目 工事部長による電気設備工事の概要説明(9時～16時) 2日目 CAI装置によるCADの最新技術の基礎的説明(※) 3日目～4日目 新築現場での施工管理の業務体験(※) 5日目 実習内容のレポート作成及び成果発表(※) <例2> オムニケーション 1日課(9時～17時) 電気設備修繕実習 3日課(※) 研修レポート作成等 1日課(※)

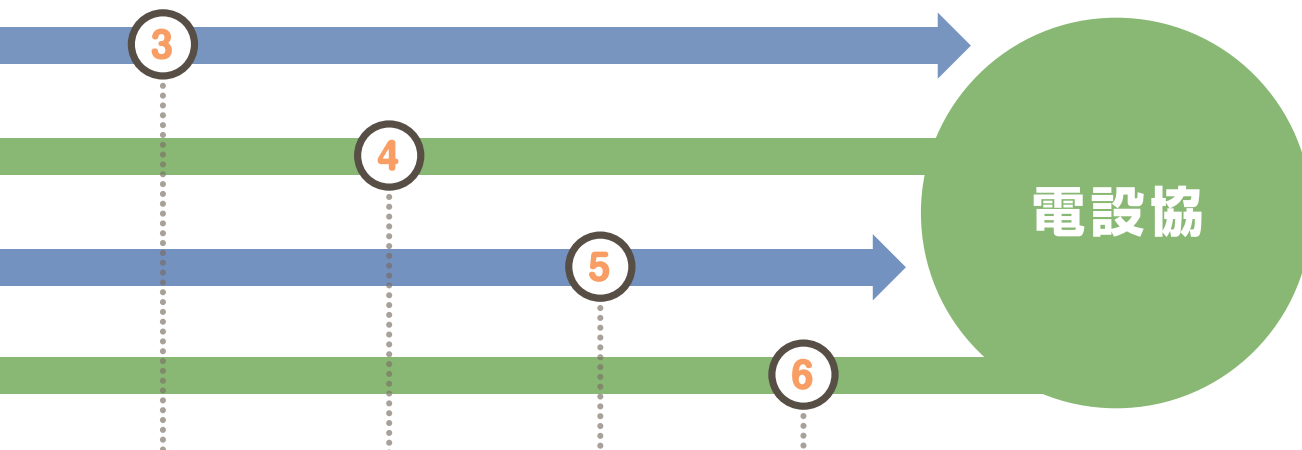
※ 実習内容のレポート作成等は、山下五郎(2年生)が担当。

〇 上記の実施計画書は、教育機関からのインターンシップ受け入れ依頼文書など受入れ要請が分かる書類を添付してください。

以上

助成金が交付されるまでの全対の流れを見てみましょう。

----- 電設協と正企業会員とのやりとり ----->



3 計画書精査・了承

電設協は実施予定1か月前を目処にその可否を助成申請があった正企業会員に回答・通知する。

4 実施計画承認書

電設協 23 第○号
平成26年○月○日

株式会社 ABC電設工事
社長 ABC 太郎 殿

一般社団法人 日本電設工業協会
会長 林 善 殿

インターンシップの実施計画について（ご留神）

平成26年○月○日付けABC電設協○号でご照会いたしました趣意の件につきましては、本会の「インターンシップ推進助成金制度」の対象になると判断されましたのでご回答申し上げます。

なお、インターンシップ終了後、速やかに「インターンシップ結果報告書」をご提出ください。（報告書にはインターンシップの実施概要が分かる写真を添付してください）

敬具

- 取成金交付後、本会ホームページに貴社がインターンシップを実施されたことを公表いたしますのでご了承ください。（社長と受入学生様（社長様はご本人）を公表します）
- 優秀賞をはじめとするインターンシップ受け入れに際して必要な手続きについては、貴社と教育機関等でお手紙ください。本会では既の手続きに関するご照会・相談にはありませんのでご了承ください。

記

1. 受入先教育機関 ○○県立工業高校
2. 実 習 期 間 平成26年8月○日～8月△日の5日間
3. 受入学生数 2人
(3千円×5日間) × 2人で算出された 3万円
4. 交付助成金 …… インターンシップ結果報告書のご提出後助成金を交付します

以上

実 習

5 報告書・助成申請

助成対象となる旨の通知を受けた正企業会員は、インターンシップ終了後速やかに実施報告書兼助成申請書を電設協に提出する。

報告・助成申請書

ABC電設協○号
平成26年○月○日

一般社団法人 日本電設工業協会
会長 林 善 殿

株式会社 ABC電設工事
社長 ABC 太郎 殿

インターンシップの実績結果報告書等のご提出

貴社では、平成26年○月○日付けABC電設協○号でご照会いたしましたとおりのインターンシップを予定のとおり実施いたしましたのでご報告いたしますとともに、助成金の交付を申請いたします。

記

1. インターンシップ実施報告書

受入先教育機関	○○県立工業高校
実 習 期 間	平成26年8月○日～8月△日の5日間
受入学生数	2人
受入先企業名	株式会社ABC電設工事（〒100-0000 東京都○○区△町1-3-3）
受入担当者の名	神谷川支店 総務・人事課 山田太郎
電話	045-xxxx-xxxx FAX 045-xxxx-xxxx E-mail:xxxx@abc.com
実 習 内 容	1日目 工事現場による電気設備工事の概要説明（9時～16時） （プロダクト） 2日目 CAD導入によるCAD図面作成の基本操作研修（*） 3日目～4日目 新築現場での施工管理の業務体験（*） 5日目 実習内容のレポート作成及び成果発表（*）
受入学生名・学年	山上一郎（2年生）、山下太郎（2年生）

* 上記の報告書に加え、①実習内容の概要、②教育機関の学業及び③実習生の学生の感想文を添付いたします。

2. 助成金の交付申請書

(1) 申請交付金額等（3千円×5日間）×2人で算出された3万円
（振込口座：○○銀行△支店……………）

(2) 交付金内容等 ①受入先教育機関 ○○県立工業高校
②実 習 期 間 平成26年8月○日～8月△日の5日間
③受入学生数 2人

以上

6 助成金交付

電設協からインターンシップを実施した正企業会員へ助成金を交付する。

* 協会ホームページ (<http://www.jeca.jp>) から実施計画書等の助成申請に必要な書類はダウンロードしてください。

インターンシップは企業の理解と協力が
必要なんだね。

現場で実習させて
もらえるなんて
貴重な体験だよ。

僕たちも
気合いを入れて
学ばなきゃ!



振興電気株式会社

<http://www.shinko-el.com/top.html>

概要

学生数

電気電子工学系の
大学3年生(男子)3名

実習期間

平成22年8月23日～
9月3日の10日間

受入体制

工事部長、CAD課主任、
2物件の現場担当者

実習プログラム

スケジュール

- 1日目** ● 工事部長の指導による電気設備業界の概要説明
CAD課主任の指導によるCAD図面作成の演習
(基本操作)
- 2日目** ● CAD課主任の指導によるCAD図面作成の演習
(基本図形)
- 3～5日目** ● 新築中工事現場での施工管理業務の体験実習
- 6日目** ● CAD課主任の指導によるCAD図面作成の演習
(応用図形・電気配線)
- 7～9日目** ● 改修中工事現場での施工管理業務の体験実習
- 10日目** ● CAD課題図面(電気配線)作成まとめ
実習内容のレポート作成
成果発表、質疑応答、その他



感想

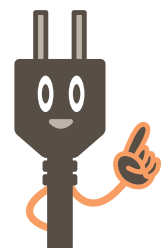
学生

CADでの図面作成や現場での施工管理が、寸歩のくらないための工夫や何度も確認する必要があるなど、こんなにも大変で細かい作業を繰り返し行っていることに驚きました。しかしこの作業が、この施設を利用する人達の快適な暮らしや安全を確保する、大変責任の重いやりがいのある仕事だと感じました。今回の実習で得たことは、将来絶対に役に立つ経験であり、今後の就職活動に生かして行きたいと思います。

指導担当者

今年は3名の実習生を受入れましたが、みなさん大変まじめに取り組まれていることに感心しました。この電気設備業界を少しでも知っていただくことや、今後社会に出られる前に仕事の厳しさや楽しさなど、気持ちの準備を体験させてあげられたらと思い指導にあたりました。また、学生と企業との間に壁の無いコミュニケーションづくりが出来ればと願っております。これからも可能な限りインターンシップの受入を行い、学生と企業の両者にとってこの電気設備業界の発展に貢献できたらと考えています。

振興電気さんはインターンシップの受け入れが今回で3回目になります。
会社全体で電設業界を盛り上げようと、指導にも熱がこもっていました。



株式会社 電成社

<http://www.denseisya.co.jp/>

概要

学生数	実習期間	受入体制
電気科等の 工業系高校2年生(男子)4名	平成22年7月21日～ 7月23日の3日間	工事現場責任者 中堅・若手社員

実習プログラム

スケジュール

- 1日目**
 - 受入れ事務担当者からインターンシップの概要説明と安全注意・現場ルールの説明
 - マンション工事現場見学
- 2日目**
 - 現場朝礼参加
 - 危険予知(K.Y)活動
 - マンション工事現場での電気工事作業体験実習(現場見学・電気ボックスボード開口工事)
- 3日目**
 - 現場朝礼参加・作業前注意事項説明
 - マンション工事現場での電気工事作業体験実習(間仕切り配線工事)
 - 反省会・経験レポート作成



感想

学生

実習期間中は暑くて大変でしたが、学校では体験できないことの連続で、その暑さを忘れるくらい集中している自分がありました。今回の実習現場はマンションでしたが、こんなにもたくさんの人たちが作業しているのかと圧倒されました。職人さん達は一見怖そうでも、挨拶をすると笑顔で挨拶を返してくれたのがとても印象的でした。簡単な作業でも失敗してしまうことが多く、指導していただいた方々には迷惑をかけてしまったけど、とても充実した3日間を過ごさせてもらって感謝しています。

指導担当者

弊社は、ローカル企業ならではの強みを「施工力(動力力・技能力)」と考え、その一貫として施工体勢の直雇化を構築すべく高校生のインターンシップを積極的に受け入れております。今回の学生さんたちは、暑い中でも集中を切らさず一生懸命に作業してくれたので、教えるこちらにも熱が入りました。現場がとても暑かったので、学生の水分補給のタイミングには気を遣いました。この実習を通して、挨拶の大切さや時間厳守など、社会人としての基礎も身につけてくれたら幸いです。

学生たちは実習開始時間の20分前には到着して準備していたそうです。
「うまくできた」と実感する学生さんが多かったのは頼もしい限りですね!





一般社団法人

日本電設工業協会

<http://www.jeca.or.jp/>

〒107-8381 東京都港区元赤坂1-7-8 (東京電業会館4F)

TEL : 03-5413-2161 FAX : 03-5413-2166

(H23.4.1.6000)